

6月定例会代表質問(要旨)

市議会ホームページにて代表質問の録画配信をしていますので、ご覧ください。

平明の会 矢野 仁志 議員

施政方針について

(質問) 防災減災施策の充実、子どもの成長育みを支える取り組みについて。

(答弁) 避難所へのWi-Fi設備の導入などについては、費用対効果を踏まえ検討する。市のホームページや緊急速報メール、メルモニ安心メールなどにより、緊急情報等を発信し、被害情報などの共有化については「すずか減災プロジェ

クト」の更なる周知を図り、活用を促進していきたい。平成28年4月の機構改革に向けて子育て支援に関する相談窓口の一元化を進めていく。多様なニーズに対応できるように「病後児保育事業」などの充実も視野に入れ、子育て支援総合拠点を検討していく。教育のICT化の実現に向けて、本年度に策定する新しい鈴鹿市教育振興基本計画において方向性を示したい。小中学校の普通教室における空調設備の設置、学校トイレの改修について、早急に整備手法などの検討を進める。

緑風会 宮本 正一 議員

施政方針について

(質問) 市長の施政方針から、防災・減災、産業振興、総合計画、子育て支援、高齢者福祉など、今後の取り組みについて考えを問う。

(答弁) 地区防災計画策定支援や災害時要援護者、サポートする市民に緊急防災ラジオの配布を検討する。新名神高速道路開通のメリットを生かし産業の活性化、企業誘致、新産業の創出

に向けて取り組む。モータースポーツなど、鈴鹿特有の地域資源を活用しシティセールスに努める。保育ニーズが高まる中、病児病後児保育、放課後児童対策など、子育て家庭支援に努める。0歳から3歳未満の乳幼児を対象にした医療費窓口負担の現物給付化に取り組む。高齢者福祉については、日常生活圏における互助を高める方策として、ボランティアポイント制度を10月から実施する。仮称「鈴鹿市総合計画2023」は将来の人口減少リスクを見据え策定を進めている。

鈴鹿の風 後藤 光雄 議員

市長の施政方針について

(質問) 「鈴鹿市総合計画2023」を作成するに当たって、①真に市民のための政策実現に向けた市役所組織のあり方をどう考えているか。②教育に関する総合的な施策の大綱を市長が定めることとなり、教育に対し市長の考えが大きく関与する。鈴鹿市の教育の目的、目指す姿を問う。③多様化

する市民ニーズへの対応を迫られる市職員の意識の持ち方、持たせ方についての考えは。

(答弁) ①総合計画を着実に推進していくために、施策などの取り組みの方向性に適し、市民ニーズに効果的に対応できる組織、機構の改革を推進していく。②鈴鹿で学び、育つことで、本市に愛着と誇りをもって、将来鈴鹿の成長を支える人材が育つ教育の実践を目指している。③業務の高度化、多様化に対応可能な人材、自発的に自らの創造性などを高められる人材を育成し、さらなる職員力の強化に努めていく。

リベラル鈴鹿 板倉 操 議員

施政方針に関連して

(質問) 市民がおかれている現状についての市長の認識を伺うと共に今後4年間の国と地方との関係についてどう考えるのかを質問したい。その認識の上に立って4年間の市政で何を優先的にやっていくのが決まると思う。市民の暮らしはリーマンショック前には戻っておらず厳しく、市財政も戻って

いない。就学援助費受給児童は増加し若年層の困難は増している。地方への財源を縮小する国の方針は今後もさらに強まる傾向にあるが、地方は社会保障を中心に必要な経費を示し、財源保障の充実を国に強く求めていく必要がある。

(答弁) 市民生活の様々な困難、また財政面でも法人市民税減少もあり厳しい状況にある。しかし、28年度からスタートする総合計画を策定する中で、市の現状と将来的課題を的確に把握しやっていく。また、地方自治の確保をし市長の考えを国や県、関係機関に明確に示したい。